

# 夢創造

平成31年1月24日(木) no.28 文責：上田

▶県内ではインフルエンザの流行で学年・学級閉鎖が増えていきます。手洗い・うがいの励行とともに室内の喚気・湿度の保持にもご留意ください。



## 教育論文執筆 授業改善による学力の向上

冬休み前後のこの時期、学校では職員が阿蘇郡市教育論文の共同執筆を行っています。子どもたちの学力向上を期して行う研究授業などを教育論文としてまとめるものです。本年度、本校では『深い学びにつながる主体的・対話的な学びによる授業創造～ユニバーサルデザインによる「楽しい・わかる」授業づくりを通して～』と題した教育論文を応募しました。

周知のように、子どもたちに身に付けさせたい資質・能力として確かな学力の定着は学校の責務の一つです。学校教育法の30条にも明記されているように、知識・技能の習得とともに課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の能力、主体的に学習に取り組む態度の育成が求められます。学校においてはこれら資質・能力を高めなくてはならず、そのために校内研修の時間を設けています。教育論文に実践を取りまとめるのは、授業改善を通して子どもたちの学力向上を図る取組でもあります。



研究構想図(一部)

今回の教育論文では、ユニバーサルデザインの考えに基づき、全ての子どもたちに「楽しい・わかる」授業づくりについてまとめています。子どもたちが生涯学習の基礎・基本を確実に身につけられる、授業が充実した産山学園づくりの大切な取組です。

## 学力の定着指標として熊本県学力調査個人票を配布

今週末、12月上旬に行った熊本県学力調査結果の個人票を配布します。学年・教科別の県正答率と個人正答率から「関心・意欲」「思考・判断」「知識・理解」等の観点の定着の度合いをご確認いただくとともに、別紙(下段)で「今後の学習に向けて」として示した学年で指導を行う内容についても、家庭学習等を行わせる際にご留意いただきますようお願いいたします。また、今回の県学力調査は標準化された相対的な学力を測るものではないことをお断りしておきます。

学校では、今後も4月の標準学力調査や全国学力調査(6年・9年対象)、そして今回の県学力調査等の結果を子どもたちの確かな学力の定着の方策、授業改善に役立てていきます。

昨年度調査の結果概要(県教委HP)▶

**1 「分かる授業」のための効果的な取組**

【分かる授業】の実現に向けて、下記の5点について取り組ましましょう

- 「何を学ぶのか」が分かる「めあて」を提示し、解決の見通しをもてるようにする。  
※ 学習指導要領及び個別に示された内容に基づいているか確認しましょう。(移行措置の内容を含む)
- めあてに沿って、「じっくり考え」「はっきり表現」させる場を設定する。
- 基礎的・基本的な知識・技能が定着したかどうか適用問題等で確認する。定着していなければ「きちんと教える」場を設定する。
- 「何を学んだのか」が分かる「まとめ」を提示する。